一万一千円寄託

平仏教同志会

平市仏教同志会では年末扶け合い運動に協力するため二十日四十五名の会員が市内の托鉢を行つたところ現金一万一千六十七円の寄進があつたので市福祉事務所を通じ暖たかい正月を迎えて下さいと恵まれぬ人たちに贈ることになつた

炭鉱子弟に「冬休の友」

県教組では常磐地方中小炭鉱生活困窮子弟二千百名に「冬休みの友」をおくる

白水小、好間三小、山田二小、赤井一小

三和新報

日刊(除日曜・祝祭日)第195号平市六丁目三和新報社発行電472
支社・支局＝東京支局・湯本支社・内郷支社・小名浜支社　12月21日　(1ヵ月50円)
(昭和29年6月17日第三種郵便物認可)

失業対策事業とは

二十五日から来年三月までの間に一日当り千五百六十名の失業者を失対事業に就労させるという。近来にない新しいニュースとして心から歓迎する。

中小企業は相ついで倒れ連日街にあふれる炭鉱失業者はこのままでは窃盗、強盗でもしなければ食う事が出来なくなる。生きてゆくためには仕事をしなければならない。しかし、その仕事がないのが今日の社会情勢である。

たとえ一日二百円なり三百円の金でも定収入であれば、それだけ生活設計もたてられることになる。

職安で発表した千五百六十名の就労ワクは社会全般からみれば焼石に水であつても、やはり嬉しい計画である。

しかし、三月をすぎればこの千五百名の人々は、また新らしい失業者となつていく。もちろん当局としてはその対策はあるのだろうが、失業者は千五百や二千名ではない。失対事業を拡充するよりも、国民に安心して働ける職を与えることが根本的対策であり、唯一の失対事業なのである。本末を顛倒することのないよう、当局に望みたい

最終弁論総論終る

写真とるな！眼がつぶれる！

女性被告ら四名出廷

平事件

平事件容共統一派の最終弁論一日目は二十一日午前十時半から地裁平支部で行われ被告席には前日に引つづいて首かいの鈴木光雄、鈴木磐夫被告らのほかに安藤コウ吉田ステヨ、松木ハルヨ、佐藤ウメヨ被告ら女闘士を混えた二十名が着席、求刑公判で検事に茶々をいれた女性群はこの日も「写真やめろ、眼がつぶれる」と喰つてかかつたが大塚弁護人の基本的人権を中心とした、全員無罪の弁論が始まるとストーブをかこんでおとなしく聴いていた、なお総論は今日で終り来年一月から各論に入り五月ごろ判決の予定である

勿来の山にかくす

大津港の赤行のう破りあがる

既報ー三阪郵便局の赤行のう抜取り事件直後お隣りの茨城県平潟郵便局から大津港駅行きの間に同じく郵便赤行のうが破られ現金二十二万円が抜取られた事件について平潟署では容疑者(三〇)を検挙したが二十一日朝この二十二萬円を勿来町の山林中にかくしたと供述しているらしく、この事件は本県にまたがるものとして地元植田署では二十二萬円の宝さがしを茨城県警察部から依頼されたもようである

磐城産業文化祭好成績

今日決算報告

第五回磐城産業文化祭実行委員会では二十日平公会堂日本間で諸橋名誉会長ら関係者五十名が集つて決算報告を行つた、これによると収入八十七萬二千四百四十九円、支出八十六萬一千三百四十四円で残が一萬一千百五円となつたがこれは当日の報告会費に当てられた

なお収入の部の内訳は次の通り△主催団体負担金五十九萬百七十三円△寄附金二十四万八千五百円△雑収入三万三千七百七十六円

十六万円のドロ公御用

土蔵破りなど十八件を自供

平署は二十二日磐城市生れ住居不定窃盗前科三犯無職遠藤圧蔵(三三)を窃盗容疑で身柄送検した、遠藤はさる五月二十一日福島刑務所を出所後平、郡山、福島などで自転車窃盗、土蔵破りなど十八件十六万三千円相当の荒かせぎを行い盗品は郡山市内のモグリ質屋、友人などに捨て値で売り払つて遊興費に当てていたもので「さる十九年ビルマ戦線で、空の勇士（陸軍伍長）として活躍中に負傷傷夷軍人として復員したが世間の眼が冷いのでグレだし盗みを働いたのが転落第一歩だ」と告白している

遠藤の荒かせぎの内訳はさる五月卅日夜平市役所飯野支所から自転車一台を盗みその足で同夜平市長橋町の東洋自動車から衣類三点、さらに赤井駅前飲食店鎌倉三守さん(三五)方から婦人用新品自転車一台と菓子など一萬七百円相当、六月十日夜磐城市本町柳内佳門さん(四五)方からバイクモーター一台（七萬六千円相当）を盗んだほか同市内で四件、六月八日夜田村郡小野新町衣類商渡辺三良方から手提金庫（三千百九十円相当）さらに同夜安積郡永盛町秀の山収入役佐藤善一郎さん(六〇)方の土蔵を破つて菜種油三斗（一万二千円相当）を盗んだほか郡山一円で土蔵破り五件、六月二日夜福島市役所清水支所から新品自転車一台、現金、医療器具など三萬五千円相当、さらに同夜同市黒岩衣類商岩本淳一さん(四三)方からボストンバツク、衣類など七千円相当を盗んだもの、なお余罪相当ある見込みで引続き拘留して取調べる

パチンコ屋で暴れる

常磐市湯本字向田四〇無職加藤某(一九)は去る十一日午後九時ごろ同市湯本字三五二八〇かおるパチンコ店で主人の石井睦子さんをおどかした揚句機械をたたきこわした疑で二十一日常磐署に捕つた、余罪多数ある見込

パチンコ玉ドロ

平署では二十日夜内郷市高坂字立野無職鈴木正治(三六)を窃盗容疑でつかまえた

鈴木はさる十三日午後六時ごろ平市田町アサヒパチンコ店ー塩七五三松さんー方にしのびこみパチンコの裏玉五百個（一千円）を盗んだもの

小名浜地区労協

期末手当決る

日水小名浜工場の下請負関係者で結成している小名浜地区労協では二十日つぎのように期末手当が妥結した◇小名浜運送一人平均男三千八百円、女二千五百円のほか一律に七百円◇丸浜通運三千七百円一律七百円◇門井組男四千百十円女二千三百円、一律七百円

公売

平労基署は二十二日午前十時より同署前で労災保険料滞納（八百五十萬円）の差押え物件トラック、ジープ、ラジオ、自転車、ミシン、タンスなど四十四点の公売を行う

駅前道路拡張協議

二十六日常磐都市計画委員会

常磐市都市計画委員会は二十六日午後一時からひらき駅前道路拡張工事、湯本鹿島線道路工事、区画整理などについて協議する

湯本二小落成

常磐市教育委員会では二十三日午後一時から湯本三小の落成式を同校で行う、総工費四千萬円で去る九月三十日完成したもので二二教室、延建坪一九九六坪、総敷地六〇八九坪

失対事業千五百名動員

廿五日から三月まで

炭鉱地区失業対策の一環として平職安所は二十五日から明年三月まで建設省磐城国道工事事務所関係の道路新設ならびに改修工事（工費三千三十万円）と県営土木事業に毎日千五百六十五名の炭鉱失業者を就労させることになつた、賃金は一日二百五十円で失対事業の二百三十五円より十五円高く明年三月末までには延十一万六千百名が就労出入るわけだ二千六百名にのぼる炭鉱失業者たちの喜びは大きい

磐城国道工事事務所関係の就労人員配置は毎日勿来海岸国道改修に百名、磐城市泉ー藤原間の国道（延長三千六百米）新設に三百十五名、常磐市下湯長谷地内鶏山ー常磐鹿島鉱間道路新設に百五十名、また県営土木工事関係は藤原川、湯本川、新川、好間川などの河川改修に千名を配置するもので職安所では就労紹介窓口を関係各市町村役場に新設させて就労者たちの便宜を図る計画をたて二十五日植田分室に菊田方部各町村代表者を集めて打合せを行う

加藤職安所長談ー毎日千五百六十五名の炭鉱失業者たちが仕事にありつけることになれば失業者たちの悩みは大幅に解消される、賃金は失対事業より高い、関係市町村に呼びかけて早急に失業者の完全登録を実施させたい

碁会

平将棋碁楽会の第卅一回碁会成績つぎの通り

◇A組　①大沼誠②佐藤正輝③青田彦輔④北郷七郎

◇B組　①高橋砿三②山崎清光③服部勲④平山昭三

正月風景撮影会

常磐市シヤツテングルツペでは一月一日から三日まで正月風景撮影会をひらき展示会ならびに作品批評を行う

Xマスプレゼントには

是非当店の

フランス人形　ピアノ
トランプ　カルタ類

豊富に取揃えて有ります
是非御用命下さい

平市一丁目
森下玩具店
電六〇二番

クリスマスセール謝恩大奉仕大売出し　12月22日～12月26日まで

伊勢松坂牛大割引

大特選	350円	のところ	260円
特選	300円	〃	230円
特上	260円	〃	200円
極上	200円	〃	180円
上肉	180円	〃	160円
中肉	160円	〃	140円

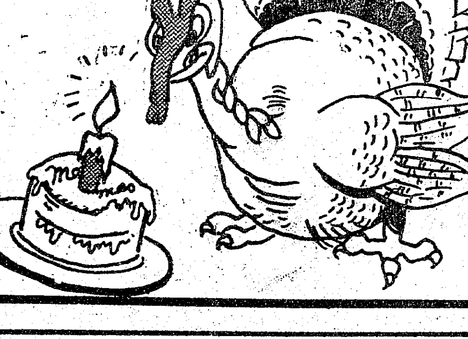
銀座通り　マルサ　電271

女店員募集

一、三菱ガソリン販賣業務
一、中學卒、廿五才まで
一、平市内、内郷、湯本に居住
一、月給五千円以上、高級制服支給
一、希望の方は履歴書持参の上、廿三日（木）午前十時
マルトモホールにお出で下さい

常磐菱油株式会社
社長　小野一雄

松月堂の
X'マスケーキ



クリスマスの
御贈答に喜ばれる
デコレーションケーキ
ご予約承ります
150圓から各種

新築開店

裏玉調節お客様の自由最新式手動昇降「平和號」

皆様の不安を解消する總ガラス張り

22日　午後3時
23日　〃　3時
クリスマス前夜祭
24日　正午

200台全機械開放の大ホール

平ゲームセンター
平駅前30米通り　TEL1859

未亡人

関　渥

銀行の決算係で生字引といわれた川波さんが、一週間わずらつてポツクリ市立の病院でなくなつた時は奥さんのイソ子さんは何かホツとしたような気もした、しかしその気持は昭和二十年の八月十五日に味わつた心持に似ていた

十三年つれそつて死なれた後には乳呑子の国雄と六つの靖男とが残されていた、口ヤカましいキレイ好きの夫だつたから、東京のタタミ表問屋で可愛がられてノンビリ育つたイソ子さんは叱られ通しだつた、あんまり口汚なく罵られた時など若かつたイソ子さんはいつそ別れようかと決心した、その時には靖男をニンシンしていた、子供が生れ靖男という名前をつける折でも夫はイソ子さんには何の相談もせずヤスクニ神社の靖をとつて靖男と名付けてしまつた、イソ子さんはイヤな気がした、それに給料袋は夫が持つていて一銭のつけ落ちもなく家計簿につけさせ、入用の金はその都度渡してくれるという風だつた、夫はおしやれで一足の靴を十年もはいていた、洋服でも着物でも自分でキチンとたたみアイロンの掛け方など器用なものだつた、短気であつたからイソ子さんがウツかり口答えをしたりするとたたいたりした

そんな夫でも応召して二十年の冬南方から復員して来た時はイソ子さんは天にものぼるようにうれしかつた、しかし夫の性質は前と何の変りもなく毎日毎日物価が上つてゆくインフレの最中なのに一日の食費は同じ金額を渡された、イソ子さんは実家から持つて来た赤い柄の着物を何枚も夫にかくれて売り、靖男にオヤツや果物を買つて与えねばならなかつた

坊主頭で復員した夫は早速頭をのばし、しまつてあつた背広を着、ネクタイをしめて銀行に通つた、一分のスキもないスツキリしたスタイルだつた、そして家へかえると早速着物にきかえイソ子さんが行列して買つたピースを四つに切つてムツツリ吸つていた

イソ子さんはヘソクリをすることを覚えた、そうせざるを得なかつた、夫と一緒に食事をするときはツマしく茶漬やおみおつけだけで食事し、夫のいない宿直の夜や出張の時はノビノビとヤミの魚や肉を食べた

会社の人達や親類隣組の手伝いで立派な葬式が行われた、イソ子さんは夫の平凡な人生のおわりを出来るだけ華やかなものにしてやりたいとつとめた、骨あげも終つて夫の死後家族をどうするかと親類会議が行われた、イソ子さんの実家は東京空襲で全滅しており少年飛行兵だつた甥が一人列席した、親類会議の結果銀行の話通りイソ子さんは銀行寮の炊事婦になることに決り、乳呑子の国雄は手のかからなくなるまで運送業をやつている夫の兄が面どうをみてくれることになつた

あれから八年、イソ子さんは節くれて大きくなつた自分の荒れた両手にメンタムをすりこみながら成長する靖男と国雄を眺めて暮して来た、再婚の話も何度かあつた、イソ子さんは未亡人になつてからとてもキレイになつたといわれるたびに、彼女は夫の川波が残してくれた家族三人の貯金帳をみて泣いたあの時を思い浮べる、「こんなお金を残してくれたつて何になろう、生きている時なぜハツキリ気持をいつてくれていたら」

イソ子さんは寮生の洗濯物をする時夫などの東北人らしい遠慮とグズと我ママを思い出しては泣けてくるのだつた、八年の間に会社も変つた、夫の同僚たちは係長となり支店長として栄転していつた、昔から知つている人も今は二人だけになつている、夫の死後支店長や係長の自宅をたずねて用件をする折も挨拶に出てくる奥さん達は川波の妻としてどことなく遠慮し子供らへの土産などにも気を使つてくれるのだつた、口惜しがりのくせにノンキ者のイソ子さんは用事のある時しか上司の家をたずねず盆、暮のアイサツなどに進物を持つて訪ねてゆくのは何か恥かしくてイヤだつた、支店長も係長も変つた、イソ子さんは銀行寮の一炊事婦としてしか扱われなくなつた今日も新任の支店長の家で奥さんから一使用人として遠慮エシヤクのない冷たい扱いを受けてきた

今年も銀行は景気がよい、寮生たちは気前がよかつた、今夜はクリスマスだと街へ飲みに出て行つた連中がもどつてきたのだろう、玄関で歌いながらおどつている、ジングルベル、ジングルベル、ベルが鳴るよう――クリスマスの歌だ、イソ子さんは靖男の机の上に飾つてある夫の写真の方へ近よつていつた、せまい部屋に靖男と国雄はグツスリ眠つている

一割二分が商店

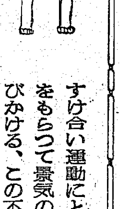
平市の商工しらべ

平市商工水産課で十一は月一日現在の市商工調査をまとめたが之によると総世帯数八千七百十四戸のうち商店は千百三十六戸、工場は七十七となつている、職種別内訳をみると商店は卸売四、各種小売業八百六十七、専門品小売十、製品造小売百八十三、飲食店六十九代理店及仲立商三、工場関係は食品製造十二、紡織二、木材及木製品製造二十七、家具及建具四、紙及類似品製造七、印刷出版及類似業五、化学工業一、金属製品製造七、機械製造十、その他製造二、従業員は商店二千三百八十七名、工業千九百名である

車馬通行ふえる

内郷

内郷市商工課ではこの程午前六時から午後六時まで六号国道（警察署前堀坂地内）の車馬交通実態調査を行つたところ四千廿二台を数え昨年度よりも七百九十一台多かつた、時間的にみるとトラツクは午後一時から同三時までの間に百二台、乗用車は午後三時から同五時までの間が最もひんぱんで八百四十三台もうごいている、十二時間内にうごいた各車の内訳をみると圧倒的に多いのは自転車で二千三百三十二台、それに次いでトラツク四百四十四台、自動三輪車三百七十七台、乗用車二百三十三台バス百九十七台、単車および側車百八十五台、小型貨物百三十五台原動機付自転車百十二台、牛馬車七台となつている



たすけ合いは皆で

このところボーナス景気で平市内の商店街も幾分活気づいてきた。景気のいい会社は一人平均三万円も四万円もだしているところがある。一方中小企業、特に炭鉱地帯はボーナスどころか、給料遅払いでその日の生活にも困つているところが相当ある、子供には弁当を与えてやることもできず教科書なども買つてやれない悲惨な家庭がどのくらい多いことか、そこで私は今全国的に行われている歳末たすけ合い運動にともないボーナスをもらつて景気のいい人たちに呼びかける、この不幸な人たちに気持だけでいい、僅かずつでもだし合つてさゝやかな正月を送らせたいものだ、どうしてもこうしたことは組織的に運動をしなければ末節的になり勝ちである、一つ会社自体が職員に呼びかけてもらいたい、こうしたことは難しいことではない筈だ、たゞし強制することは趣旨に反するし、そうしたことから生れでたものは本当の扶け合いにならない、扶け合うという気持だけが問題なのだ。

（平市童根町　新沢生）

今夜の映画（三一二）

◇聚楽館　我れ暁に死す　征服されざる人々

◇世界館　近松物語　変化大名　龍虎八天狗第二部　六、一三

◇平　館　喧嘩鴉　結婚期　鉄化面第二部　夜の部六、一〇

◇民　劇（二十一二三）次郎物語　風雲児信長

◇ひかり座　戦の矢　ジャングルの決死行　女レスリング

◇第二いわき（一七一二一）赤穂義士　神風特攻隊　三日月童子第三部

◇つづら映劇（一九一二一）卑きよう者　若き日は悲し

ミシンはハツピイ
緑の小山で

あなたに贈る
現金50,000円＋
銀座街の二重景品付福引
大売出し
12月18日→正月3日
御買上300円毎に福引券一枚
外に5万圓當る
幸運券一枚進呈
松賞　1000圓（150名様）
竹賞　100圓（1000名様）
（100圓毎に補助券一枚）
★幸運賞五萬圓の抽籤日は1月4日★
梅賞　森永キヤラメル（殘り全部）
發表は1月5日
各新聞紙上及各商店頭

ぎんざ街
Xマスプレゼントに
時計が喜ばれます
売出期間中大特価
精工舎製品保証付
八型腕時計　三、八〇〇円より
十型〃　三、三一〇〇円より
中三針　三、七〇〇円より
掛時計　三、二〇〇円より
舶来もの各種大廉賣
誠光堂
電一四九六

ぎんざ街
指定商のNHK
ラジオショウ御招待
高級オーバー・チヤンバー
セビロ・ズボン
当店を一度見てから品定め
洋服洋品の店　成光堂
電・1383

ぎんざ街
高級婦人靴
高級紳士靴
子供靴
国鉄物資部指定店
スガタ靴メーカー
本店　銀座（電）二〇四
支店　二丁目（電）二〇五九

ぎんざ街
婦人服と
子供服の店
高級洋服生地
洋服裏地甲商サベリ特約店
丸進
電1358

ぎんざ街
味と香りの店
スペシヤル
コーヒーとケーキ
おしるこ、ぜんざい
特製支那そば
幸樂
電一三八三

ぎんざ街
毎度ありがとうございます
食品の店
三井分店
電一〇八九

ぎんざ街
高級婦人服地
〃　婦人オーバー
〃　紳士服地
マルエ
電265

ぎんざ街
デフレの贈物は
毛糸が一番喜ばれます
ダイヤモンド
毛糸
1ポンド美麗箱入　￥1650
半ポンド　〃　￥850
ハシモトヤ糸店
電14

ぎんざ街
アクセサリーの店
マツヤ糸店
電一二八一

ぎんざ街
新春の御調度に
家具と漆器
ネオン広告燈完成記念
歳末大賣出し中
あるが家具店
平市銀座　TEL223